



表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				感染性胃腸炎				A群溶血性レンサ 球菌(溶連菌)咽頭炎				手足口病			
	6/3~ 6/9	~6/16	~6/23	~6/30	6/3~ 6/9	~6/16	~6/23	~6/30	6/3~ 6/9	~6/16	~6/23	~6/30	6/3~ 6/9	~6/16	~6/23	~6/30
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	6.18	6.73	8.86	8.14	8.46	9.54	7.00	6.62	11.15	9.46	8.38	8.08	2.15	2.69	5.77	11.15
定点医療機関数	22				13				13				13			
前週比	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑
コメント	松戸保健所管内の直近の定点報告数は減少しましたが、千葉県では増加が続いています。かぜ症状で受診したいときは、かかりつけ医に相談しましょう。				感染者のおう吐物や便の処理後は流水で30秒以上手を洗いましょう。				発症時は抗菌薬で治療します。主治医に指示された期間の服薬が大切です。				国が定める警報基準値「5」を超えました。基本的感染対策の他、おむつ処理後は速やかに手を洗いましょう。			
千葉県	5.54	6.26	7.25	9.17	4.95	5.40	5.38	4.84	6.06	6.20	5.56	5.10	3.21	4.12	6.87	9.68
前週比	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑
東京都	4.07	4.48	4.70	5.57	4.86	5.04	4.46	4.14	3.95	3.81	3.26	3.27	2.81	4.08	5.94	9.88
前週比	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑

**ジカ熱・デング熱対策
蚊から身を守りましょう！！**

なぜ対策が必要なの？

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。



ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる？

感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、**発熱や関節の痛み、発疹**が出るといった症状が**1週間ほど**出ます。ジカ熱は妊婦が感染すると先天性障害を持った子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

蚊の発生源をなくそう！

- 定期的に蚊の幼虫が発生しそうな水たまり(※)の除去・清掃をしましょう！
- (※植木鉢の皿・古タイヤに溜まった水たまり・雨ざらしの用具・野外に放置された缶やボトル・詰まった排水溝など)
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。



予防方法

ワクチンはありません。やぶなどの蚊がいそうなところに行くときは、肌を露出せず、虫よけスプレーを使用するなど、蚊にさされないようにしましょう。

げきしょうがたようけつせい

劇症型溶血性レンサ球菌感染症について

レンサ球菌による感染症で、感染しても無症状なことが多く、症状が出てもほとんどは咽頭炎(のどの炎症)や皮膚の感染症にとどまります。まれに通常は細菌が存在しない組織(血液、筋肉、肺など)にレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患となることがあり、「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」と呼ばれています。

感染経路

明らかになっていない部分が多いですが、**傷口や粘膜から**、通常は菌の存在しない**筋肉、脂肪組織や血液にレンサ球菌が侵入**することによって発症します。

症状

最初に手足の強い痛みがみられることが多く、続いて発熱、のどの痛み、消化器症状(食欲不振、吐き気、おう吐、下痢など)全身倦怠感、手足の腫れ、筋肉痛などの症状が現れます。また、めまいや錯乱状態を伴うことがあります。症状が進行すると、筋肉や脂肪における炎症、呼吸障害や意識障害が進行して死に至る場合もあることから、**疑わしい症状が現れた場合には、早めに医療機関を受診**しましょう。

予防方法

ワクチンはありません。手洗いやせきエチケツトなどの基本的な感染対策に努めるとともに、**ケガをした際の傷口はよく洗い清潔に保ち**ましょう。

